

\*\*\*\*\*

言語研究センター共同研究グループ経過報告

## スペイン語を専攻する学生のための教材研究

Arturo Varón / Víctor Calderón / 菊田 和佳子 / 片岡 喜代子

私達研究グループでは、引き続きより良い教材やそれを用いた授業方法を開発すべく、研究活動を行っている。当学科の教育プログラムは、スペイン語を専攻言語とし、その語学力を用いて、様々な分野の専門研究を行うというのが目標である。その教育課程に見合うような語学力を修得することを目指して、カリキュラム編成や授業内容を考え、よりよい教材と教授法を考案している。

語学の基礎学習には、文法項目等いつの時代も変わらぬ必須事項と、世の中の移り変わりや世界情勢によって学修事項に組み込んで行くべきものがある。特に語彙は、10年毎くらいの速さで入れ替えを検討すべき項目である。

その両者のバランスをとりつつ、教材を検討している。

授業方針としては、日本人教員とスペイン語母語話者教員が半分ずつくらい担当する前半2学年の学修時期において、両授業内容が連携して、より効率のよい基礎学修を目指し、そのための教材を検討中である。専門研究の加わる後半2年間には、その分野独自の語彙を加えた学修が必須になるが、それにはその語彙の背景にある世界規模での知識教養の修得が必要である。

その点もふまえて、幅広い語彙の理解力に基づいた文章理解へつなげ、幅広く応用可能な語学力修得を目指している。(kk)